


中日友好新聞

発行所 日本中国友好協会  
〒111-0933  
東京都千代田区浅草橋2-2-3  
浅草橋5-5-5  
電話 03(5829)2149(代)  
FAX 03(5829)2141  
http://www.info.ncc.jp  
E-mail: info@ncc.jp  
TEL: 03(10)-1-2174

日中友好協会 岡山支部  
〒705-0024  
岡山市北区下伊福  
西町1-53 民生会館1F  
TEL: FAX 0861 250-1806

日中友好協会 倉敷支部  
〒712-8031  
倉敷市福河町東2-461-45  
TEL: FAX 0861 451-7800

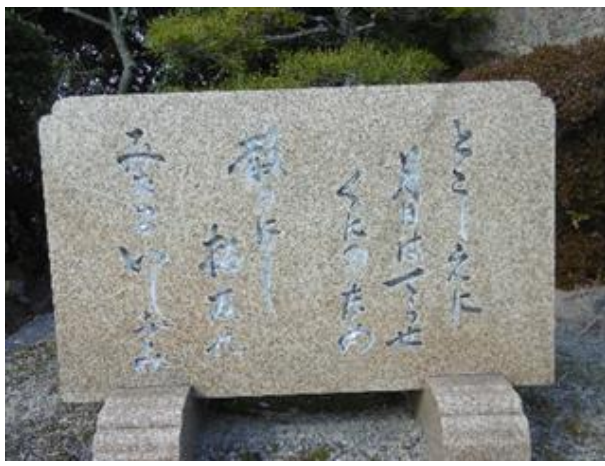
日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rzhongyouhao.jinaa.net  
メールアドレス  
rzhongyouhaoiehiokayama@yahoo.co.jp



### 満蒙開拓団大島分村(浩良大島)の足跡を聴いて

その3 近現代史研究者 青木康嘉

八月一〇日夫の原田満左右にも応召が来て、浩良河駅の警備担当に配置した。『栞魂』の原田賀世の手記によると、八月一日避難命令があったけど、浩良大島開拓団本部は「籠城」を衆議一致で決議している。しかし、一日再度「避難命令」、しかし、病弱な子供を連れて逃げられないと島村団長に訴えるも、軍の命令です。一人も残ることは出来ない。明朝早く浩良河へ向かい最後の列車で避難します。」と毅然たる口調で言われて荷物をまとめ



た。生別か、死別か、ハシカでやつれた明子を抱いて二人の子どもと一緒に行く。」

九月中綏化飛行場格納庫で、浩良大島開拓団員の幹部男性一名、妻一名、幼児九名亡くなった。ハシカになった明子さんは、私は母の懐に抱っこされて生き延びることができた」と語った。

た。学校印や校長印を持ち、めぼしいものは持たぬようにして、明子を肩車し、和彦の手を引き(直彦は牛に乗せてもらおう)、どしゃぶりの雨の中、濡れねずみで病児と歩く。駅では応召していた原田満左右が警備しており、お汁粉を用意していて、駅のストローブで服を乾かした。最終列車がきた。

「四日、最終列車が浩良河を通過する。途中鉄橋などを爆破して西行するので以後行動を共にしろ」と命令を受けていた。

この時の様子を、『栞魂』で母親の原田賀世は病弱な直彦(一二歳)、和彦(五歳)、明子(三歳)を連れて逃避行が始まったことを次のように書いている。

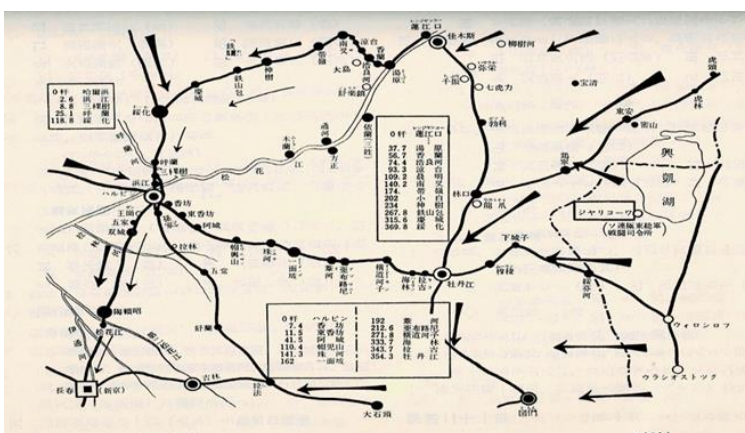
綏化で団は二つに別れ、私たち六十名は幾つもの列んだ高い屋根の下で暮らすことになった。綏化の飛行場の格納庫生活の一月。幼児はつぎつぎにハシカで死んでいく。明子もハシカになる。毎夜懐に入れて坐って寝る。九月一五日南下の命令が出て、綏化の捕虜となつている主人を収容所に訪ね

日神泉寮」で感激の再会をした。原田賀世は『栞魂』で語る。

順天公園の緑を背にして威風堂々とそびえる三階建て、満州中央銀行の独身寮である。設備の良く行き届いた立派な建物であった。そこに、岡山県関係の報国農場や柳樹河などの開拓団が住み、私達の団は中心より東側だった。部屋の割り当ては窮屈で、私共は中央入口に近く四畳半に十一人で、からだを仰向けに寝られなかった。」

原田賀世は、この長春の街で皆めいめい最大限に生きる道に入った。立ち売り、使役・最低生活に耐えてきた私たち開拓民は、投げ出された時に根強いものを持つている。私は立売り一点張りだった。「甘酒、かがみ納豆、お饅頭を売った。

そこで、明子がアメーバ赤痢になった。血便が続く、目ばかり大きくなった。今度は明ちゃんの死ぬ番じゃなあ」という声が聞こえてきた。しかし、ある日売るために油揚げを煮て置いていた。それを明子が沢山食べたから、アメーバ赤痢はよくなった。奇跡」が起きたような話である。兄の直彦が外庭で「満人」に蹴られたり、踏



まれたり、鞭で打たれたりしたこともあった。次男の和彦も高熱を出して、死にそうになったこともあった。一九四五年一〇月に幼児一五人が死亡、十一月は幼児四人、一二月は団員幹部男性四人、老人一人、幼児一人が死亡した。一九四六年になつても、一月二人、二月五人、三月四人、四月三人、五月二人、六月三人、七月三人が死亡した。満洲開拓史』によれば、この「神泉寮」には五〇〇人が住んでおり、そのうち二〇〇人が死亡したとの記録がある。

次号へ続く



## 孫文死後 国民革命

犬飼 繁

孫文が亡くなった1925年、五・三〇事件が起こります。この年2月、上海の日本人経営紡績工場で中国人労働者が待遇改善を求めてストライキに突入、5月15日ストライキ中に日本人監督が中国人組合指導者の一人を射殺したのをきっかけに抗議運動が高まりました。5月30日には学生・労働者のデモ隊に上海租界のイギリス警官隊が発砲、これにより13名の死者が出ます。これが五・三〇事件で、これ以後この抗議運動は全国的な反帝国主義運動に発展しました。これを五・三〇運動といえます。

このような状況を背景に、第一次国共合作により共産党員も含めた広州国民政府が7月に樹立され、孫文の後を受けた蒋介石は1926年、中国を統一するため軍閥打倒の北伐を開始します。かつて孫文は、今後、真の和平統一を実現しようとするならば、やはり軍閥を絶滅しなければならず、軍閥と結託して悪事を行う帝国主義を打破しなければならず、帝国主義を打破するためには、必ずいつさいの平等条約を廃棄しなければならぬ。」と語っていました。それを実現するための北伐です。蒋介石率いる国民革命軍

は、大衆運動の高揚も利用しながら長江流域まで達し、武漢に国民党左派と共産党を中心とする国民政府をたて、南京・上海を占領しました。しかし、浙江財閥や外国勢力の支持を受けた蒋介石は1927年共産党を弾圧し（上海クーデタ）、南京に国民政府をたてます。ここに国民党と共産党は分裂したのです。

武漢の国民党左派も南京国民政府に合流し、1928年蒋介石は北伐を再開します。国民革命軍が山東省の省都、済南に迫ります。済南は当時日本人居留民約2000名、北支一帯の日本人経営事業の第一線基地でした。田中義一内閣は日本人居留民の生命・財産の保護を口実に山東出兵を強行し、済南において国民革命軍と日本軍が衝突しました（済南事件）。しかし、蒋介石の目的はあくまで中国の統一であり、日本軍と戦争をする意思はなく、国民革命軍は迂回して一路北京を目指します。当時北京にあつて皇帝を僭称していたのは、日本軍の支援を受けていた奉天軍閥の張作霖でした。国民革命軍の破竹の勢いに張作霖軍は各地で敗走し、国民革命軍は6月北京に入場します。蒋介石はただちに平等条約廃棄を宣言し、列強との外交交渉を進め、米・英などヨーロッパ各国からの関税自主権の回復に成功しました。

## 前川喜平さんと考える メディアのあり方 これでいいの？山陽新聞 に参加しました。

稲葉泰子



2月8日（金曜日）、新聞労連、山陽新聞労働組合主催の集会在岡山労働者福祉センターで行われました。参加者は400人でした。5階の300人入る会

敗れた張作霖は奉天に帰ろうとしますが、関東軍の参謀河本大作らが陰謀を企んでいました。関東軍を山海関（中国本土と満州の境）まで出動させ、敗走してくる張作霖軍を一挙に武装解除し、日本による満蒙の武力占領を実現しようというものです。しかしこれには一つ隘路がありました。関東軍は満鉄附属地の守備を目的としています。山海関は満鉄附属地外ですからこれはポーツマス条約違反となり、世界中から批判を浴びるのは明らかです。ところが、関東軍が満鉄附属地外へ出兵する方法が一つだけありました。それは天皇の命令（奉勅命令）が出るといふことです。

次号へ続く

場はいっぱいで、別室で観ておられる方が100人になるという嬉しい悲鳴でした。

きっかけは、新聞労連加盟の労働組合員二人が、会社側に不当配転を強いられている。労働組合法に違法するような会社に対して闘っている方を応援しようというものでした。私は、前川喜平氏はメディアについてどのような話しをされるのだろうか、という興味で参加しましたが、山陽新聞の加計問題に対して読者に不誠実な報道の仕方の実態と誠実にまじめに、頑張っている労働組合員の姿に、感動することができて、大きな学びを得ることができました。

前川氏は開口一番、山陽新聞は、市民県民に責任を持つ公器であるといわれました。営利企業といえども、メディアである以上、知る権利に奉仕をする役目がある、これは、民主主義の基礎であると言われました。その言葉で目からウロコのすつきりした気持ちで集会全体を学習することができました。元山陽新聞記者の三宅勝久さんから、現職の時代に山陽新聞会長と加計学園理事の越宗孝昌氏は同一人物であることを突き止め

たこと。前川氏は加計問題が国政を揺るがす大きな問題で有る以上、即刻、両者の役員は止めるべきだとの意見。

新聞労連委員長南さんから、山陽新聞報道の仕方を他の地方紙と詳しく時系列に比較されて、メディアとしての使命である知る権利に応えた報道をしていなかったことが一目瞭然にわかりました。朝刊紙は40万部を届けているそうです。山陽新聞のみの購読者が多い岡山県民にはあまり知らされないとしたら、それこそ、加計問題に関して県民には矮小化して映ったことだと思えます。そのように報道した山陽新聞の責任は大きいと思えます。

最後に、前川さんは、教育とメディアには、政治権力が入ってはいけない、民主主義が崩される。又、権力者が使う中立性に騙されるな、権力者が中立性を言った時には、権力の批判を封じ込めるため、危険です。とまとめられました。尚、この集会については、インターネット、YouTubeで観ることが出来ます。

次回の新聞発送作業は  
3月1日（金）午後1時半から  
民主会館2階で行います。  
前回お手伝いくださった方です。

葉飼川林田  
稲飼小真曾